

表 3

福岡県内主要 24 医療機関の赤血球供給量に対する血漿供給量の比率（血漿/赤血球）

医療機関名	病床数	10年度	11年度	12年度
聖マリア病院	1,388	0.9	0.6	0.3
九州大学病院	1,312	0.7	0.8	0.6
久留米大学病院	1,205	1.3	1.2	1.0
飯塚病院	1,157	0.8	0.7	0.5
福岡大学病院	915	1.1	0.7	0.6
国立病院九州医療センター	700	1.1	1.2	1.4
健和会大手町病院	677	0.4	0.8	0.5
小倉記念病院	658	0.5	0.6	0.5
産業医科大学病院	618	0.7	0.6	0.6
福岡徳洲会病院	600	0.7	0.7	0.9
九州労災病院	600	0.5	0.6	0.4
九州厚生年金病院	575	0.9	0.6	0.4
北九州市立医療センター	572	0.4	0.5	0.3
高木病院	560	2.4	1.7	1.3
新古賀病院	550	1.3	1.1	1.4
浜の町病院	520	0.2	0.1	0.3
福岡赤十字病院	509	0.8	0.8	1.0
北九州総合病院	500	1.0	0.9	0.6
原三信病院	500	0.3	0.3	0.2
済生会八幡病院	435	1.2	1.3	0.4
国立病院九州がんセンター	419	0.5	0.6	0.4
北九州市立八幡病院	400	0.5	0.4	0.3
福大筑紫病院	345	2.8	2.0	0.8
和白病院	250	1.3	1.3	0.8

※平成12年度は、平成12年4～9月の実績×2

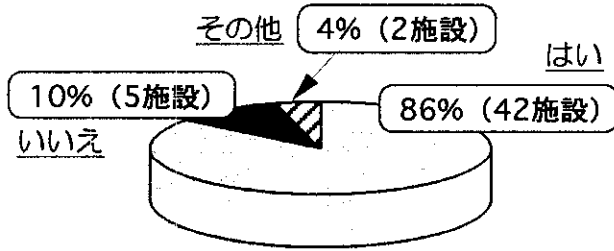
九州ブロック各血液センター及び全国の赤血球に対する血漿の比率（血漿/赤血球） 表 4

センター名	平成10年度	平成11年度	平成12年度
福岡	0.75	0.68	0.57
佐賀	0.72	0.71	0.57
長崎	0.63	0.61	0.47
佐世保	0.76	0.67	0.67
熊本	0.90	0.85	0.77
大分	0.86	0.66	0.57
宮崎	0.97	0.85	0.88
鹿児島	0.75	0.72	0.69
沖縄	1.08	0.98	0.96
ブロック	0.81	0.74	0.66
全国	0.86	0.78	0.69

※平成12年度は、平成12年4～9月の実績×2

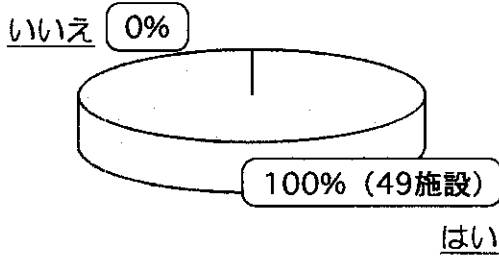
集計結果 I -①

①血液製剤の適正使用を推進していますか？

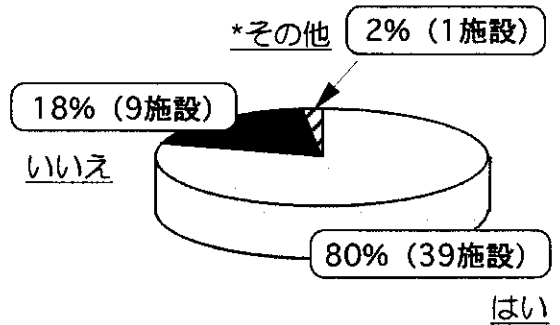


- * 「使用指針」のパフレット配布 (医師全員、医局、病棟、など)
- * 院内でマニュアル、お知らせ等を作成し配布
- * 輸血療法委員会、診療部会等でのアナウンス 使用状況報告
- * 院内の使用基準の設定と症例検討
- * 不適切なオーダーへのコンサルト
- * 伝票への使用目的・検査値記入の徹底
- * 保険請求の面からのアピール (特にFFP)

②平成11年6月に改正された「血液製剤の使用指針」をご存じですか？

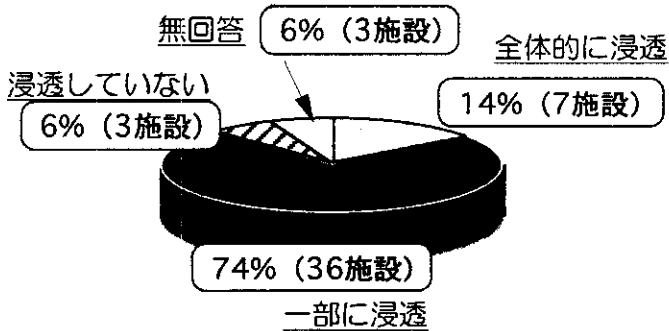


③院内各部門へ「血液製剤の使用指針」の周知が行われましたか？

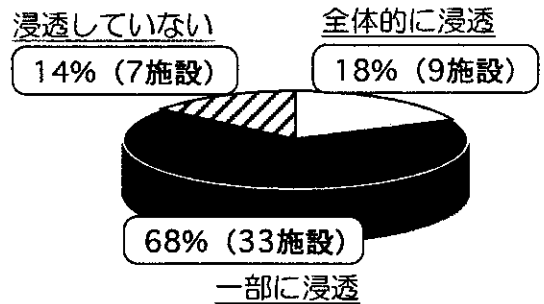


*「その他」は、新人Drには説明

④医師の方にお尋ねします。貴院において「血液製剤の使用指針」は浸透していると思われませんか？

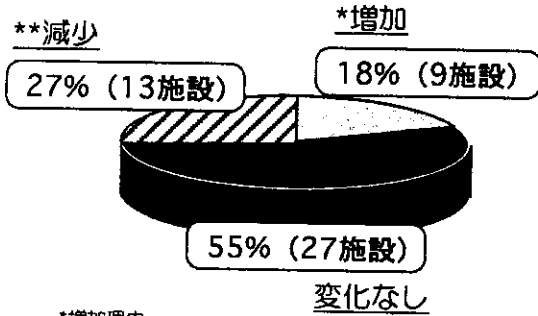


⑤医師以外の輸血管理部門の方にお尋ねします。貴院において「血液製剤の使用指針」は浸透していると思われませんか？



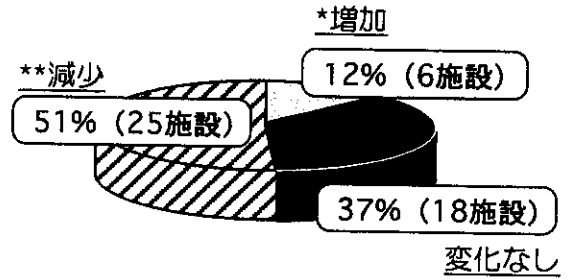
集計結果 I -②

⑥昨年に比べ、貴院の赤血球製剤の使用量に変化はありますか？



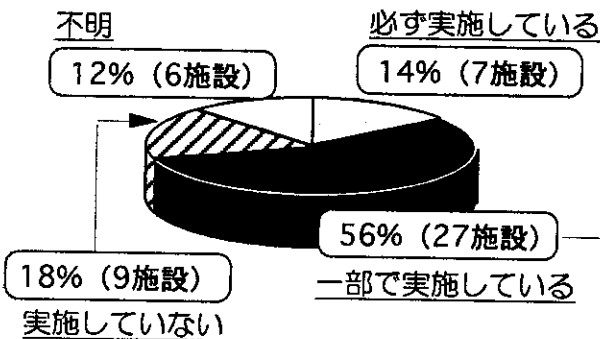
*増加理由
増床、患者増、手術件数・重症手術の増加、血液疾患の治療法の変化 等
**減少理由
使用指針周知、適正使用推進の結果、輸血伝票にHb値のデータ記入欄を設けた、患者減 等

⑦昨年に比べ、貴院の新鮮凍結血漿の使用量に変化はありますか？

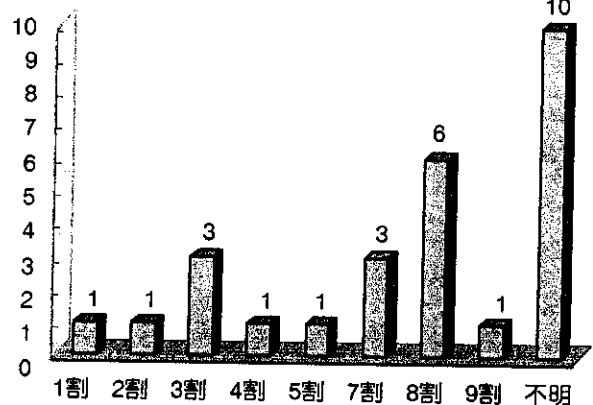


*増加理由
増床、血漿交換の増加、手術件数・重症手術の増加、リスク削減に5単位製剤を推奨したところ利便性で増加（2単位2本が5単位1本になるなど） 等
**減少理由
使用指針周知、適正使用推進の結果、療法委員会の活動成果、保険審査の影響、輸血伝票にPT・APTT記入欄を設けた、抱き合わせ輸血の減少、肝臓の手術が減った、患者減 等

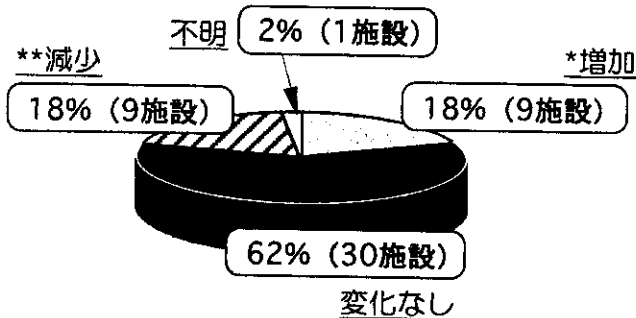
⑧新鮮凍結血漿の投与前には、凝固系の検査を実施していますか？



一部で実施している場合、新鮮凍結血漿投与症例に占める検査実施の割合は？

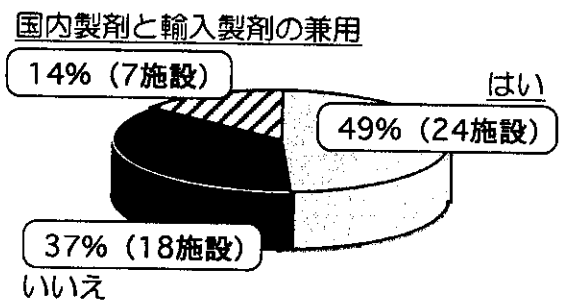


⑨昨年に比べ、貴院のアルブミン製剤の使用量に変化はありますか？



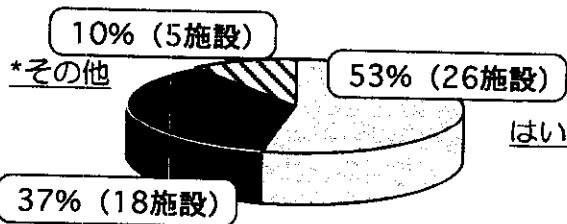
*増加理由
FFPが循環血漿量の改善目的でしようできなくなったため、重症患者の増加、重症肝疾患の増加、増床 等
**減少理由
使用指針周知、適正使用推進の結果、保険査定の影響、患者減 等

⑩貴院で使用されているアルブミン製剤は国内献血由来製剤ですか？



集計結果 I -③

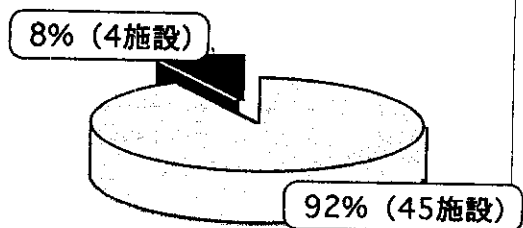
①血液製剤の使用量を診療科ごとに集計・把握していますか？



いいえ

*「その他」は、Dr別に集計している、コンピューターに入力しているのに必要に応じて集計可能、集計はしていないが大まかに把握している 等

いいえ
②院内で自己血輸血を実施していますか？

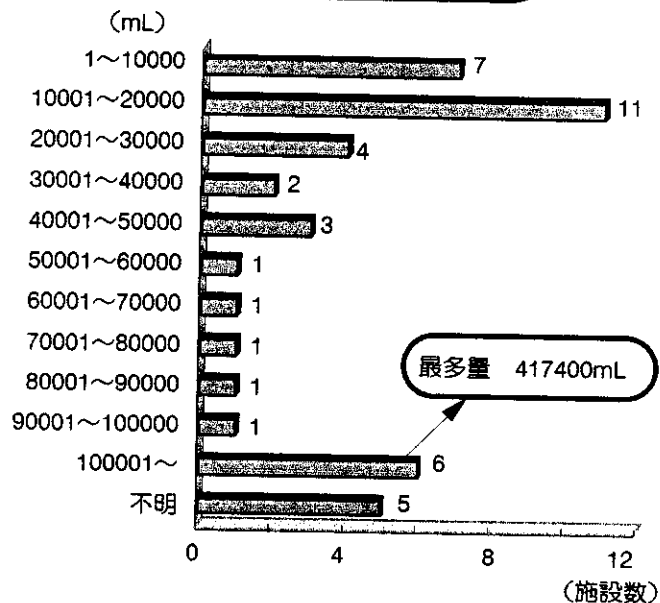


*はい

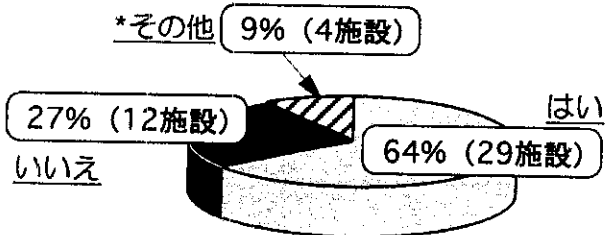
*「はい」のうち2施設は今年度より実施

「はい」と解答した45施設は設問③へ

平成11年度に実績のある43施設は11年度の輸血量をお答えください



③自己血輸血を推進していますか？

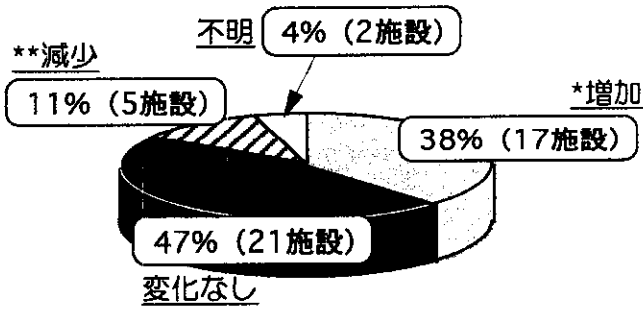


- *マニュアル、お知らせ等の配布
- *貯血計画から採血・製剤分離・保管管理・供給までの協力
- *採血室、機器、看護婦（採血係）確保等を充実
- *採血介助への輸血部門の参加
- *説明会の実施
- *療法委員会等で啓蒙

*「その他」は、特殊血の場合のみ、各科で推進している 等

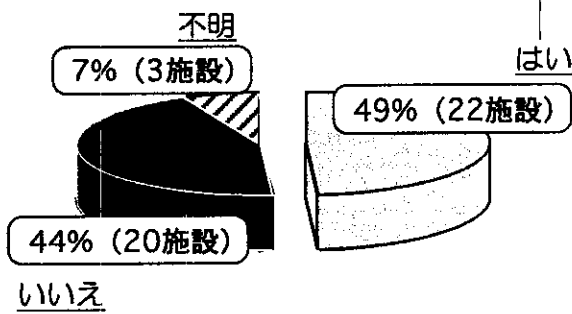
集計結果 I - ④

⑭昨年に比べ、貴院の自己血の輸血量に変化はありますか？

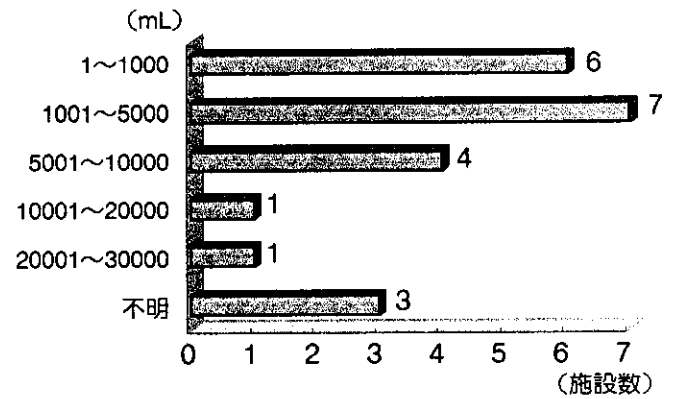


*増加理由
患者増、手術症例増、実施診療科の拡大 等
**減少理由
患者減、整形外科での自己フィブリングルー使用減 等

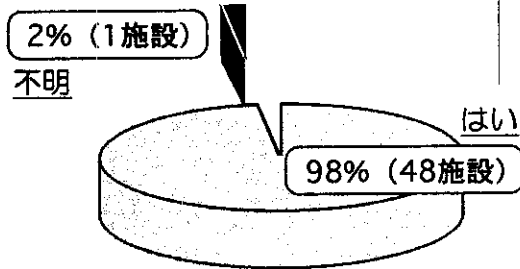
⑮平成11年度に、使用されずに廃棄処分した自己血がありますか？



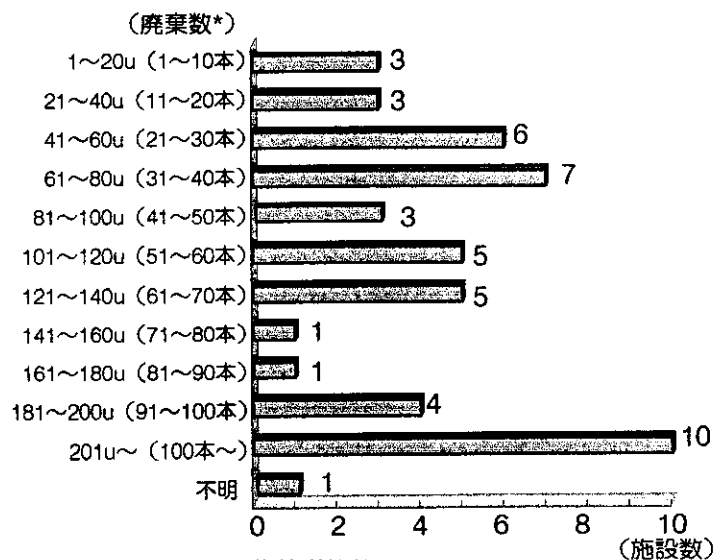
廃棄量は？



⑯平成11年度に赤血球製剤（日赤血）を有効期限切れ等で廃棄処分しましたか？



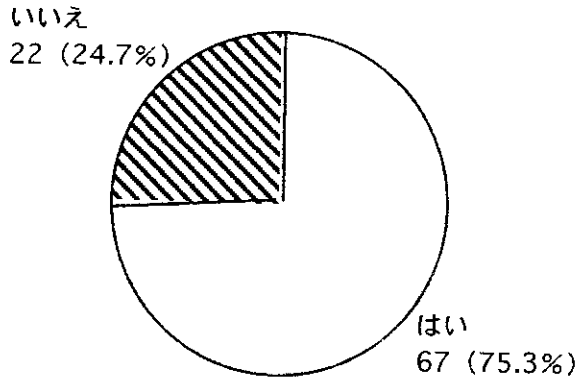
廃棄量は？



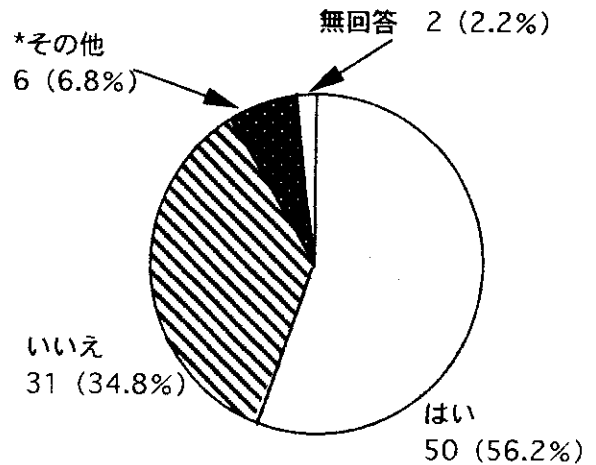
*廃棄数=200mL換算単位数。
カッコ内は400mL製剤で何本に相当するか表示しています。

集計結果Ⅱ-①

①新鮮凍結血漿の使用について新たに「血液製剤の使用指針」として策定されたことをご存じですか？

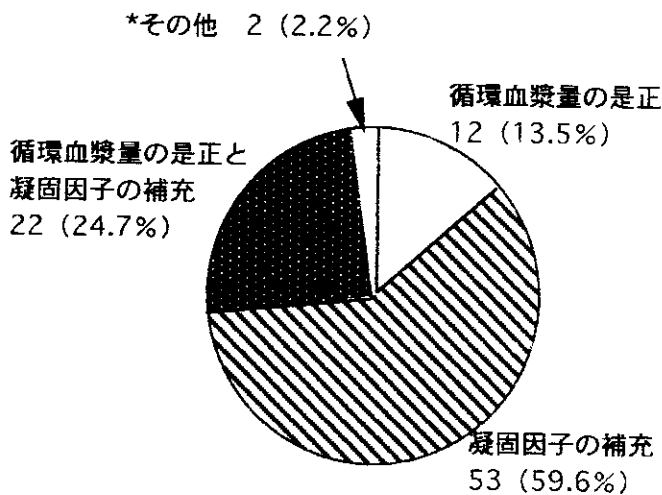


②新鮮凍結血漿を使用されている医師は血液製剤の使用指針にそって輸血されていると思いますか？



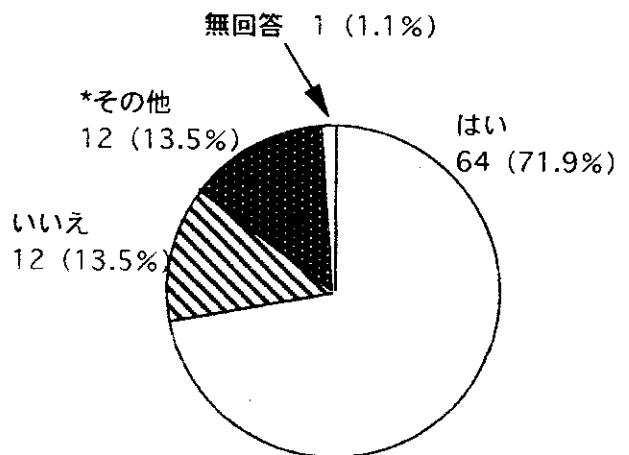
*その他は
「医師による」 3
「症例による」 1
「不明」 1
特にコメントなし 1

③新鮮凍結血漿の主な輸血にはどの目的で輸血されていると思いますか？



*その他は
「低アルブミンの是正」 1
「アルブミン使用量が決まっているのでその代用として」 1

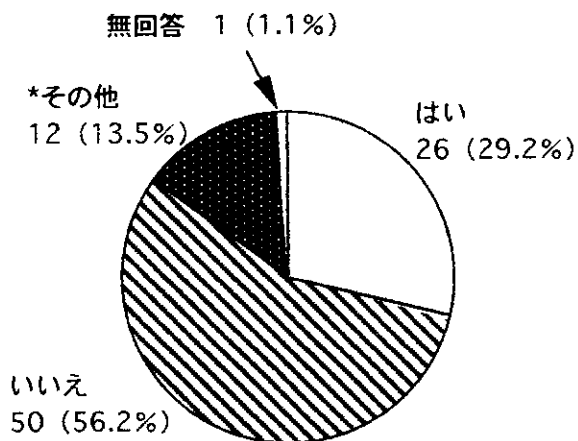
④新鮮凍結血漿を使用する前に凝固検査を実施されていますか？



*その他は
「一部で実施」 7
「入院時実施」 1
「(新生児のため)採血可能であれば実施」 1
「使用していない」 3

集計結果Ⅱ-②

⑤新鮮凍結血漿の使用量に変化がありましたか？



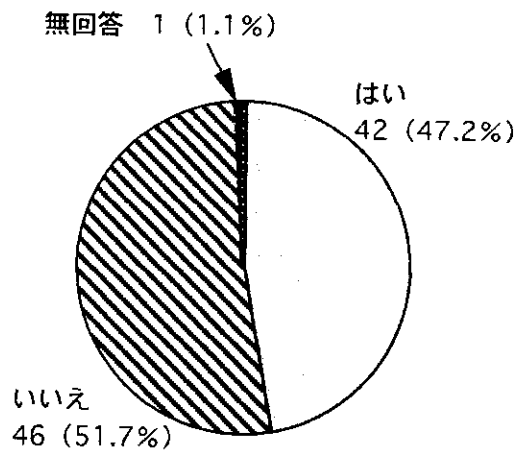
*その他は
「以前からほとんど使用していない」 6
「不明」 5
特にコメントなし 1

はいと答えられた方で、
前年度の使用量に対して約何%でしたか？

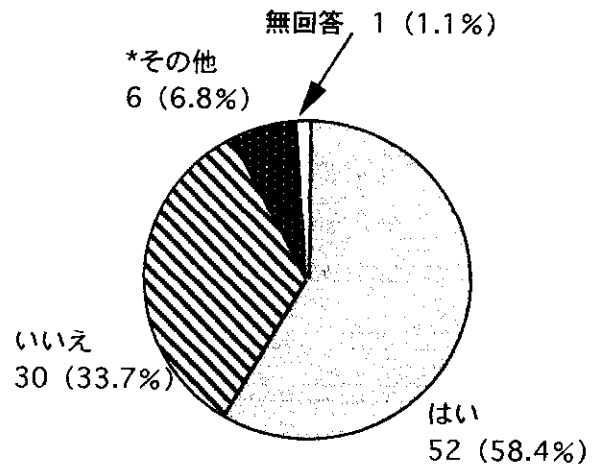
増加 4		減少 17		無回答 5
180% ↑	1	ほぼ使用なし 1 (100% ↓ ?)		
100% ↑	1	50% ↓	1	
20~30% ↑	1	40% ↓	3	
5% ↑	1	30% ↓	4	
		25% ↓	1	
		20% ↓	3	
		10~20% ↓	1	
		10% ↓	2	
		無回答	1	

集計結果Ⅱ-③

⑥新鮮凍結血漿に5単位製剤があること
をご存じですか？



⑦診療報酬請求で新鮮凍結血漿をカット
されたことがありますか？



*その他は

「不明」 2

「少ないと思う」 1

「確認していないが多分カットされている」 1

「使用していない」 1

特にコメントなし 1

本アンケート調査に対する評価

最後に本研究班の行った、アンケートに対する評価を調査した。

本調査に対する評価はおおむね好意的で、「有用」、「自分の病院の実態把握ができた」が大半を占めていたが、否定的な意見が1/4程度存在した。「手間だけかかって病院の適正使用の改善に役立っていない」という意見が15病院から回答された。病院統計が手作業に頼らざるを得ないため、担当職員の負担が大きいことが見えてくる。アンケート記入者は技師・薬剤師が63病院で事務系のサポートはほとんど得られていなかった。担当者は本調査の各病院の廃棄血報告に関心が高かった。自分の病院の使用量と他病院の比較に関心のある病院は1/3であった。医師が担当した病院が少なかったためか各血液成分の使用状況は適正と判定した回答は1/3であった。その中ではFFPが多すぎるという回答が19病院で突出していた。今後、さらにFFP使用量が減少すると予測された。

- (1) このアンケートの感想は
- (23) 有用であった
 - (55) 自分の病院の実態把握ができた
 - (5) 輸血管理システムを構築できた
 - (5) 輸血管理の重要性を病院内で理解してもらえた
 - (7) 病院上層部は輸血管理に関心がない
 - (1) 無意味であった
 - (14) 手間だけかかって病院の輸血管理や適正使用に何の進歩もなかった
- (2) このアンケートを記入しておられる、あなたの職種は
- (35) 検査技師
 - (10) 輸血認定検査技師
 - (18) 薬剤師
 - (8) 医師 外科系 4 内科系 4
 - (3) 事務職
- (3) 平成9年度と10年度の調査報告書を見られましたか。
- (54) 見た →設問 (3) へ
 - (17) 見ていない→設問 (8) へ
- (4) 実態調査報告の中で、何が参考になりましたか。複数回答可
- (18) 輸血管理部署、管理者の実態
 - (19) 院内輸血療法委員会の実態
 - (11) 不適合輸血の実態
 - (48) 血液製剤の使用実態
 - (19) 貯血式自己血使用
 - (16) アルブミン製剤使用
 - (34) 廃棄製剤
 - (0) なし→設問 (7) へ
- (5) 血液製剤使用情報の中で、他の施設と比較した項目がありますか。複数回答可
- (24) 輸血患者あたり製剤別使用量
 - (24) 診療科、疾患別の血液製剤使用量
 - (16) 貯血式自己血患者数、貯血量
 - (9) アルブミン使用量
 - (39) 廃棄製剤

(6) この資料から、ご自分の病院の製剤使用状況をどうお考えですか。

- 赤血球製剤の使用は (7) 多すぎる
(24) 適正
(26) 判断出来ない
- 血漿製剤の使用は (19) 多すぎる
(18) 適正
(20) 判断出来ない
- 血小板製剤の使用は (3) 多すぎる
(25) 適正
(28) 判断出来ない
- アルブミン製剤の使用は (10) 多すぎる
(14) 適正
(31) 判断出来ない

(7) 今後この資料をもとに、貴施設の輸血医療・業務の改善を考えていますか。複数回答可

- (20) 血液製剤の管理体制の改善
(3) 24時間の検査体制整備
(11) 院内輸血療法委員会の設置
(25) 院内輸血療法委員会の充実
(28) 臨床科への情報提供
(3) その他 ()
(1) 考えていない
(34) 廃棄血の減少
(25) 自己血輸血の推進

(8) どのような内容を盛り込めばよいか、ご意見をお書き下さい。

表 8

1. アンケートの感想

医療機関名	有用であった	自分の病院の実態把握ができた	輸血管理システムを構築できた	輸血管理の重要性を病院内で理解してもらえた
九州大学病院	○	○		
貝塚病院				
原土井病院		○		
八木病院	○	○		○
国立病院九州医療センター		○		
福岡市立こども病院		○		
済生会福岡総合病院	○	○		
浜の町病院		○		
福岡通傷病院		○		
福岡市民病院		○		
原三信病院	○	○		
木村外科病院		○		
国立病院九州がんセンター		○		
福岡赤十字病院		○		
九州中央病院	○	○	○	○
福岡大学病院	○	○		○
さくら病院		○		
白十字病院		○		
村上華林堂病院		○		○
早良病院				
昭和病院				
福岡歯科大学病院		○		
福岡徳洲会病院		○		
済生会二日市病院		○		
福岡青洲会病院			○	
国立福岡県病院		○		
社会保険中原病院	○	○	○	○
宗像医師会病院			○	
宗像水光会病院		○	○	
久留米大学病院	○	○		
久留米大学医療センター	○	○		
聖マリア病院	○	○		
新古賀病院		○	○	
久留米第一病院	○	○		
県立朝倉病院		○		
田主丸中央病院		○		
公立八女総合病院	○	○		
県立柳川病院	○	○		
高木病院	○	○		
大牟田市立総合病院		○		
三井大牟田病院		○		
ヨコクラ病院	○			
筑後市立病院	○	○		
北九州総合病院				
国立小倉病院	○	○		
社会保険小倉記念病院	○			
北九州市立医療センター		○		
健和会大手町病院		○		
新小倉病院		○		
三萩野病院		○		
北九州市立八幡病院		○		
新日鐵八幡記念病院		○		
産業医科大学病院	○			
九州厚生年金病院		○		
三菱化学病院		○		
北九州市立門司病院				
JR九州病院		○		
門司労災病院		○		
掖済会門司病院				
共立病院		○		
北九州市立若松病院				
中間市立病院	○	○		
町立戸屋中央病院		○		
福岡県立遠賀病院	○	○		
飯塚病院				
直方中央病院				
社会保険田川病院		○		
田川市立病院		○		
筑豊労災病院	○	○		
福岡県立嘉穂病院		○		
宮田病院	○	○		
合計	23	55	5	5

1. アンケートの感想

医療機関名	病院上層部は輸血管理に関心がない	無意味であった	手間だけかかって病院の輸血管理や適正使用に何の進歩もなかった
九州大学病院	○		
貝塚病院		○	○
原土井病院			
八木病院			
国立病院九州医療センター			
福岡市立こども病院	○		○
済生会福岡総合病院			
浜の町病院			
福岡逓信病院			○
福岡市民病院			
鳳三信病院			○
木村外科病院	○		
国立病院九州がんセンター			
福岡赤十字病院			
九州中央病院			
福岡大学病院			
さくら病院	○		○
白十字病院			
村上華林堂病院			○
早良病院	○		
昭和病院			
福岡歯科大学病院			
福岡徳洲会病院			
済生会二日市病院			
福岡青洲会病院			
国立福岡東病院			
社会保険仲風病院			
宗像医師会病院			○
宗像水光会病院			
久留米大学病院			
久留米大学医療センター			
聖マリア病院			
新古宮病院			
久留米第一病院			
県立朝倉病院			
田主丸中央病院			
公立八女総合病院			
県立柳川病院			
高木病院			○
大牟田市立総合病院			
三井大牟田病院			
ヨコクラ病院			
筑後市立病院			
北九州総合病院			
国立小倉病院	○		
社会保険小倉記念病院			
北九州市立医療センター			○
健和会大手町病院	○		
新小倉病院			
三萩野病院			
北九州市立八幡病院			
新日鐵八幡記念病院			
産業医科大学病院			
九州厚生年金病院			○
三菱化学病院			
北九州市立門司病院			○
JR九州病院			
門司労災病院			○
接済会門司病院			○
共立病院			
北九州市立若松病院			○
中岡市立病院			
町立芦屋中央病院			
福岡県立遠賀病院			
飯塚病院			
直方中央病院			
社会保険田川病院			
田川市立病院			
筑豊労災病院			
福岡県立嘉穂病院			
宮田病院			
合計	7	1	14

2. アンケート記入者の職種および専門領域

医療機関名	検査技師	輸血認定検査技師	薬剤師	医師		専務医
				内科系	外科系	
九州大学病院					○	
貝塚病院			○			
原土井病院	○					
八木病院	○					
国立病院九州医療センター	○					
福岡市立こども病院	○					
済生会福岡総合病院	○					
浜の町病院				○		
福岡通信病院				○		
福岡市民病院	○					
原三信病院		○				
木村外科病院	○					
国立病院九州がんセンター		○				
福岡赤十字病院	○					
九州中央病院				○		
福岡大学病院		○				
さくら病院						○
白十字病院	○					
村上葦林堂病院	○					
早良病院	○					
昭和病院						○
福岡歯科大学病院					○	
福岡徳洲会病院	○					
済生会二日市病院	○					
福岡曹洲会病院	○					
国立福岡東病院	○					
社会保険仲原病院			○			
宗徳医師会病院			○			
宗徳水光会病院	○					
久留米大学病院		○		○		
久留米大学医療センター	○					
聖マリア病院					○	
新古賀病院	○					
久留米第一病院	○					
県立朝倉病院			○			
田主丸中央病院	○					
公立八女総合病院		○				
県立柳川病院			○			
高木病院	○					
大牟田市立総合病院	○					
三井大牟田病院	○					
ヨコクラ病院	○					
筑後市立病院	○					
北九州総合病院			○			
国立小倉病院	○	○				
社会保険小倉記念病院		○				
北九州市立医療センター	○					
徳和会大手町病院		○				
新小倉病院			○			
三枝野病院	○					
北九州市立八幡病院			○			
新日鐵八幡記念病院			○			
産業医科大学病院						○
九州厚生年金病院		○	○			
三豊化学病院			○			
北九州市立門司病院			○			
JR九州病院			○			
門司労災病院			○			
掖済会門司病院			○			
共立病院	○					
北九州市立若松病院			○			
中間市立病院	○					
町立芦屋中央病院	○					
福岡県立遠賀病院				○		
飯塚病院		○				
直方中央病院	○					
社会保険田川病院	○					
田川市立病院			○			
筑豊労災病院	○					
福岡県立嘉穂病院			○			
宮田病院	○					
合計	35	10	17	5	3	3

3. 平成10年度と11年度の調査報告書を見たか

医療機関名	見た	見ていない
九州大学病院	○	
貝塚病院		○
原土井病院		○
八木病院		○
国立病院九州医療センター	○	
福岡市立こども病院	○	
済生会福岡総合病院	○	
浜の町病院	○	
福岡逓信病院		○
福岡市民病院	○	
原三信病院	○	
木村外科病院	○	
国立病院九州がんセンター	○	
福岡赤十字病院	○	
九州中央病院	○	
福岡大学病院	○	
さくら病院		○
白十字病院	○	
村上華林堂病院	○	
早良病院		○
昭和病院	○	
福岡歯科大学病院	○	
福岡徳洲会病院	○	
済生会二日市病院	○	
福岡青洲会病院	○	
国立福岡東病院	○	
社会保険仲原病院	○	
宗徳医師会病院		○
宗徳水光会病院	○	
久留米大学病院	○	
久留米大学医療センター	○	
聖マリア病院	○	
新古賀病院	○	
久留米第一病院		○
県立朝倉病院	○	
田主丸中央病院	○	
公立八女総合病院	○	
県立柳川病院	○	
高木病院	○	
大牟田市立総合病院	○	
三井大牟田病院	○	
ヨコクラ病院	○	
筑後市立病院	○	
北九州総合病院		○
国立小倉病院	○	
社会保険小倉記念病院	○	
北九州市立医療センター	○	
徳和会大手町病院	○	
新小倉病院	○	
三萩野病院	○	
北九州市立八幡病院		○
新日鐵八幡記念病院	○	
産業医科大学病院	○	
九州厚生年金病院	○	
三響化学病院		○
北九州市立門司病院	○	
JR九州病院	○	
門司労災病院		○
徳済会門司病院	○	
共立病院		○
北九州市立若松病院	○	
中間市立病院		○
町立芦屋中央病院	○	
福岡県立運賃病院	○	
飯塚病院		○
直方中央病院		○
社会保険田川病院	○	
田川市立病院	○	
筑豊労災病院	○	
福岡県立嘉穂病院	○	
宮田病院		○
合計	54	17

4. 実態調査報告書の中で何が参考になったか

医療機関名	輸血管理者、管理者の実態	院内輸血療法委員会の実態	不適合輸血の実態	血液製剤の使用実態	貯血式自己血使用
九州大学病院	○	○	○	○	○
貝塚病院					
原上井病院					
八木病院					
国立病院九州医療センター					
福岡市立こども病院				○	
済生会福岡総合病院	○	○	○	○	
浜の町病院	○			○	
福岡逓信病院				○	
福岡市民病院	○			○	○
原三信病院				○	
木村外科病院	○	○		○	
国立病院九州がんセンター			○	○	
福岡赤十字病院			○	○	○
九州中央病院		○		○	
福岡大学病院	○	○		○	
さくら病院				○	
白十字病院		○		○	
村上華林堂病院	○			○	
早良病院				○	
昭和病院	○	○			
福岡歯科大学病院			○	○	○
福岡徳洲会病院				○	
済生会二日市病院	○			○	
福岡貴洲会病院		○		○	
国立福岡東病院				○	
社会保険仲原病院	○	○		○	
宗徳医師会病院				○	
宗徳水光会病院			○	○	○
久留米大学病院				○	
久留米大学医療センター				○	○
聖マリア病院				○	○
新古賀病院	○			○	
久留米第一病院				○	
県立朝倉病院	○			○	
田主丸中央病院				○	
公立八女総合病院			○	○	○
県立柳川病院				○	
高木病院		○		○	
大牟田市立総合病院	○	○	○	○	
三井大牟田病院		○		○	○
ヨコクラ病院				○	○
筑後市立病院				○	○
北九州総合病院				○	
国立小倉病院		○		○	
社会保険小倉記念病院				○	○
北九州市立医療センター				○	
備和会大手町病院				○	
新小倉病院		○		○	
三萩野病院				○	
北九州市立八幡病院				○	
新日鐵八幡記念病院	○	○		○	○
産業医科大学病院			○	○	○
九州厚生年金病院		○		○	○
三豊化学病院				○	○
北九州市立門司病院		○			
JR九州病院	○			○	○
門司労災病院				○	
済済会門司病院	○			○	
共立病院				○	
北九州市立若松病院				○	
中間市立病院					○
町立芦屋中央病院	○	○	○	○	○
福岡県立遠賀病院			○	○	○
飯塚病院				○	
直方中央病院				○	
社会保険田川病院				○	
田川市立病院	○			○	
筑豊労災病院		○		○	
福岡県立嘉穂病院				○	
宮田病院				○	
合計	18	19	11	48	19

4. 実態調査報告書の中で何が参考になったか

医療機関名	アルブミン製剤使用	医薬製剤	なし	その他
九州大学病院	○	○		
貝塚病院				
原土井病院				
八木病院				
国立病院九州医療センター				
福岡市立こども病院		○		
済生会福岡総合病院		○		
浜の町病院				
福岡逓信病院				
福岡市民病院		○		
原三信病院				
木村外科病院				
国立病院九州がんセンター		○		
福岡赤十字病院				
九州中央病院	○	○		
福岡大学病院				
さくら病院				
白十字病院		○		
村上華林堂病院				
早良病院				
昭和病院				
福岡歯科大学病院		○		
福岡徳洲会病院		○		
済生会二日市病院		○		
福岡曹州会病院				
国立福岡東病院		○		
社会保険仲原病院	○	○		
宗徳医師会病院				
宗徳水光会病院				
久留米大学病院	○			
久留米大学医療センター	○			
聖マリア病院	○			
新古賀病院				
久留米第一病院				
県立朝倉病院		○		
田主丸中央病院		○		
公立八女総合病院	○			
県立柳川病院		○		
高木病院		○		
大牟田市立総合病院		○		
三井大牟田病院		○		
ヨコクラ病院	○	○		
筑後市立病院		○		
北九州総合病院				
国立小倉病院				
社会保険小倉記念病院		○		
北九州市立医療センター		○		
健和会大手町病院		○		
新小倉病院				
三萩野病院				
北九州市立八幡病院				
新日鐵八幡記念病院	○	○		
産業医科大学病院	○	○		
九州厚生年金病院	○	○		○
三菱化学病院				
北九州市立門司病院				
JR九州病院	○	○		
門司労災病院				
権済会門司病院		○		
共立病院	○	○		
北九州市立若松病院				
中間市立病院				
町立芦屋中央病院	○	○		
福岡県立遠賀病院				
飯塚病院				
直方中央病院				
社会保険田川病院	○	○		
田川市立病院		○		
筑豊労災病院	○	○		
福岡県立嘉穂病院		○		
宮田病院				
合計	16	34	0	1

安易なアンケート調査はやめてほしい。先に調査された厚生省からのアンケートと重複しているので統一してほしい。この資料が国の施策などに対して有効に使用されることを希望する。

5. 血液製剤使用情報の中で、他の施設と比較した項目があるか

医療機関名	輸血患者あたり製剤別使用量	診療科、疾患別の血液製剤使用量	貯血式自己血患者数、貯血量	アルブミン使用量	廃棄製剤
九州大学病院	○	○	○	○	○
貝塚病院					
原土井病院					
八木病院					
国立病院九州医療センター		○			○
福岡市立こども病院					○
済生会福岡総合病院	○	○			○
浜の町病院	○	○			○
福岡通信病院					
福岡市民病院					○
京三信病院	○	○			○
木村外科病院	○		○		
国立病院九州がんセンター	○	○			○
福岡赤十字病院		○			○
九州中央病院			○		○
福岡大学病院	○	○	○	○	○
さくら病院					
白十字病院	○			○	○
村上華林堂病院	○	○			
早良病院					
昭和病院					
福岡歯科大学病院			○		○
福岡徳洲会病院		○			○
済生会二日市病院	○				○
福岡青洲会病院			○		○
国立福岡東病院		○			○
社会保険仲原病院	○			○	○
宗像医師会病院					
宗像水光会病院		○			○
久留米大学病院		○	○	○	○
久留米大学医療センター	○		○		○
聖マリア病院	○	○	○	○	○
新古賀病院	○				○
久留米第一病院					
県立朝倉病院		○			
田主丸中央病院	○				○
公立八女総合病院	○	○			○
県立柳川病院					○
高木病院	○	○			
大牟田市立総合病院					○
三井大牟田病院		○			○
ヨコクラ病院			○	○	○
筑後市立病院			○		○
北九州総合病院					
国立小倉病院	○	○	○		
社会保険小倉記念病院	○	○	○		○
北九州市立医療センター	○				○
健和会大手町病院	○				○
新小倉病院					
三秋野病院	○				
北九州市立八幡病院					
新日鐵八幡記念病院					○
産業医科大学病院	○	○	○	○	○
九州厚生年金病院		○			○
三菱化学病院					
北九州市立門司病院					
JR九州病院	○			○	
門司労災病院					
経済会門司病院					
共立病院					
北九州市立若松病院			○		
中関市立病院					
町立芦屋中央病院					○
福岡県立遠賀病院		○			○
飯塚病院					
直方中央病院					○
社会保険田川病院					○
田川市立病院					○
筑豊労災病院			○		○
福岡県立嘉穂病院					
宮田病院					
合計	24	24	16	9	39

6. この資料から、自分の病院の製剤使用状況をどう思うか

医療機関名	赤血球製剤の使用は			血漿製剤の使用は		
	多すぎる	適正	判断出来ない	多すぎる	適正	判断出来ない
九州大学病院	○			○		
貝塚病院						
原土井病院						
八木病院						
国立病院九州医療センター	○			○		
福岡市立こども病院		○			○	
済生会福岡総合病院			○	○		
浜の町病院			○		○	
福岡通信病院						
福岡市民病院		○			○	
原三信病院			○			○
木村外科病院		○			○	
国立病院九州がんセンター		○			○	
福岡赤十字病院			○			○
九州中央病院		○				○
福岡大学病院		○		○		
さくら病院						
白十字病院		○		○		
村上藤林堂病院		○			○	
早良病院						
昭和病院	○			○		
福岡歯科大学病院			○	○		
福岡徳洲会病院		○		○		
済生会二日市病院			○			○
福岡豊洲会病院			○			○
国立福岡東病院			○			○
社会保険仲原病院			○			○
宗像医師会病院						
宗像水光会病院		○				○
久留米大学病院	○			○		
久留米大学医療センター		○		○		
聖マリア病院		○				○
新古賀病院	○			○		
久留米第一病院						
県立朝倉病院		○			○	
田主丸中央病院		○			○	
公立八女総合病院			○	○		
県立柳川病院			○			○
高木病院			○	○		
大牟田市立総合病院		○		○		
三井大牟田病院		○			○	
ヨコクラ病院		○			○	
筑後市立病院			○			○
北九州総合病院						
国立小倉病院	○			○		
社会保険小倉記念病院		○			○	
北九州市立医療センター	○			○		
健和会大手町病院		○		○		
新小倉病院			○			○
三萩野病院		○			○	
北九州市立八幡病院						
新日鐵八幡記念病院			○			○
産業医科大学病院			○			○
九州厚生年金病院			○			○
三養化学病院						
北九州市立門司病院			○		○	
JR九州病院			○			○
門司労災病院						
掖済会門司病院		○			○	
共立病院			○			○
北九州市立若松病院		○			○	
中間市立病院			○			○
町立芦屋中央病院		○			○	
福岡県立速賀病院			○	○		
飯塚病院						
直方中央病院			○			○
社会保険田川病院			○	○		
田川市立病院			○		○	
筑豊労災病院		○			○	
福岡県立嘉穂病院			○			○
宮田病院						
合計	7	24	26	19	18	20